


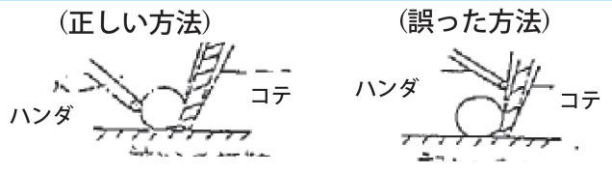
# 電気ペネトレーションの施工管理 および保守管理について

2023年4月20日



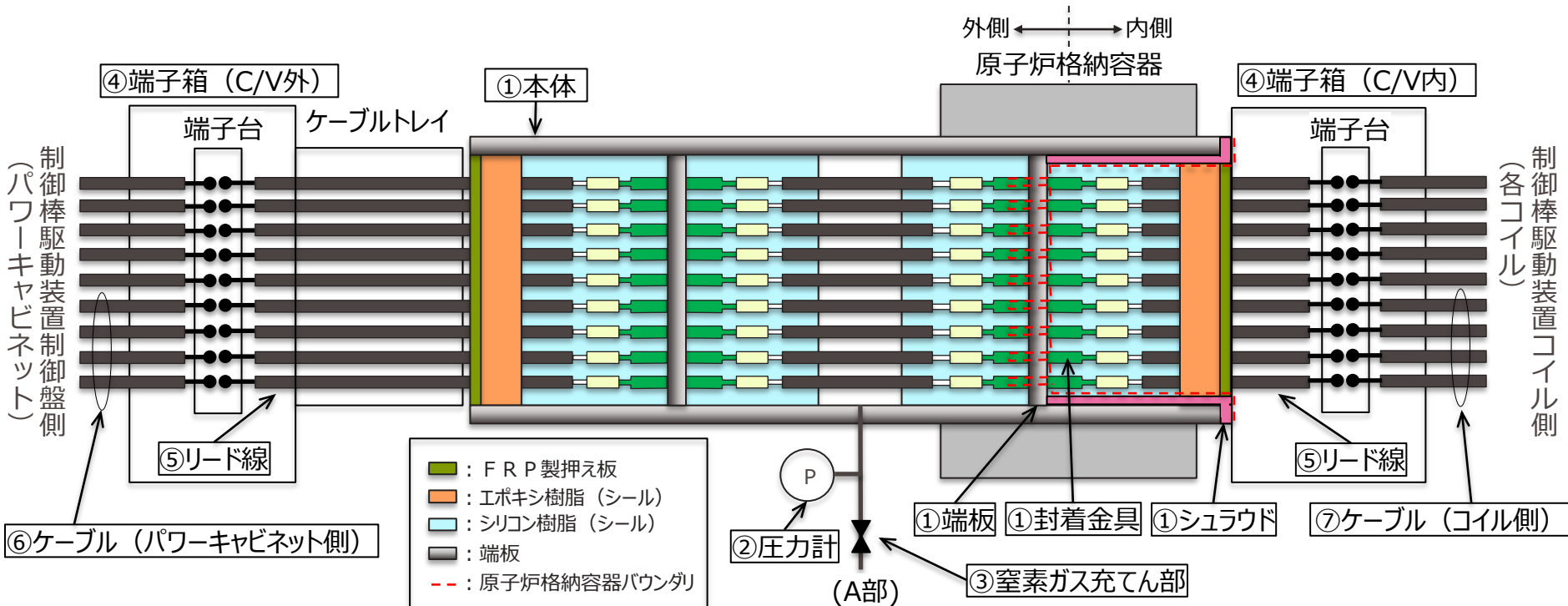
# 1. 施工管理

- 電気ペネトレーションのはんだ接続部の施工管理は以下のとおり。  
以下の表は一般的なはんだ作業要領であるが、電気ペネトレーションのはんだ作業要領も同様となる。

手順	作業項目		作業内容	
1	準備	材料	はんだ材料は接合対象に適した材料を準備	
		工具	はんだゴテは接合対象に適した熱容量とコテ先の形状を準備	
		作業前点検	外観チェック	本体とコテ先のぐらつき、コードの焼けやこげ、コテ先の酸化・浸食有無
			清掃	コテ先が酸化していれば清掃 接合先の材料が汚れていればアルコールなどで清掃
	温度測定	電源投入後、安定した時のコテ先の温度が判定値以内であること		
2	作業	はんだ	コテの当て方 コテに直接はんだを当ててはならない 	
		予備はんだ	はんだのなじみを良くするために、はんだを行う部分に予備はんだを実施すること	
		コテの離し方	はんだが接合部に十分拡散するのを待ってコテを離す	
3	点検	作業後点検	外観チェック はんだに光沢がある、はんだ量に不足がない、はんだが十分なじんでいる、端子・穴の開いているものは埋まっている、表面が荒れていないなど 状態確認 はんだ接合部を引っ張り動かないこと	

# 2. 保守管理

➤ 電気ペネトレーションの保守管理は以下のとおり。



点検部位	点検内容	周期
① 本体、端板、シュラウド、封着金具	漏洩試験 (格納容器内またはA部より加圧して確認)	漏洩率試験時 (1サイクル)
② 圧力計	圧力計校正	1サイクル
③ 窒素ガス充てん部	露点温度測定、ドレン水確認、漏洩試験	1サイクル
④ 端子箱 (C/V内、C/V外)	外観点検 (端子台の端子緩み)、清掃	1サイクル
⑤ リード線 (*)	端子箱内リード線の目視点検 (リード線に荷重がかかっていないこと) (*)	至近定検時
⑥ パワーキャビネット~コイル間ケーブル	絶縁抵抗測定、導通抵抗測定 通電波形観測 (*)	1サイクル 至近定検時

(\*)今後の点検項目に追加